

富士山頂に巨大な笠雲

山
梨

真っ白な帽子 ふんわりと

山梨県富士吉田市で20日朝、富士山に巨大な笠雲^{かさぐも}がかかっているのが見えた。楕円状^{だえん}の分厚い雲が雪化粧した山頂をふんわりと覆い、晴天の下で真っ白な帽子を乗せているような姿になった。

甲府地方气象台によると、笠雲は太平洋から吹いてくる湿った暖かい空気が山の斜面にぶつ

かって上昇し、上空の冬の冷氣によって冷やされ発生する。天気が下り坂になるサインとされ、同市では朝方、曇り空が広がっていたという。

発生から数時間で形が崩れることが多く、一度消えた後に小さな雲が山頂に現れ、二重になったり巨大化したりと形を変えていた。